

GLP尼崎

GLP amagasaki

No. 21-004-2010更新
新築
工場・物流施設

発注者	尼崎ロジスティック特定目的会社	カテゴリー				
設計・監理	(株)フジター級建築士事務所 Fujita CORPORATION	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	(株)フジタ大阪支店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

物流施設における環境創生の可視化

サステナブルディベロップメントへの取組み

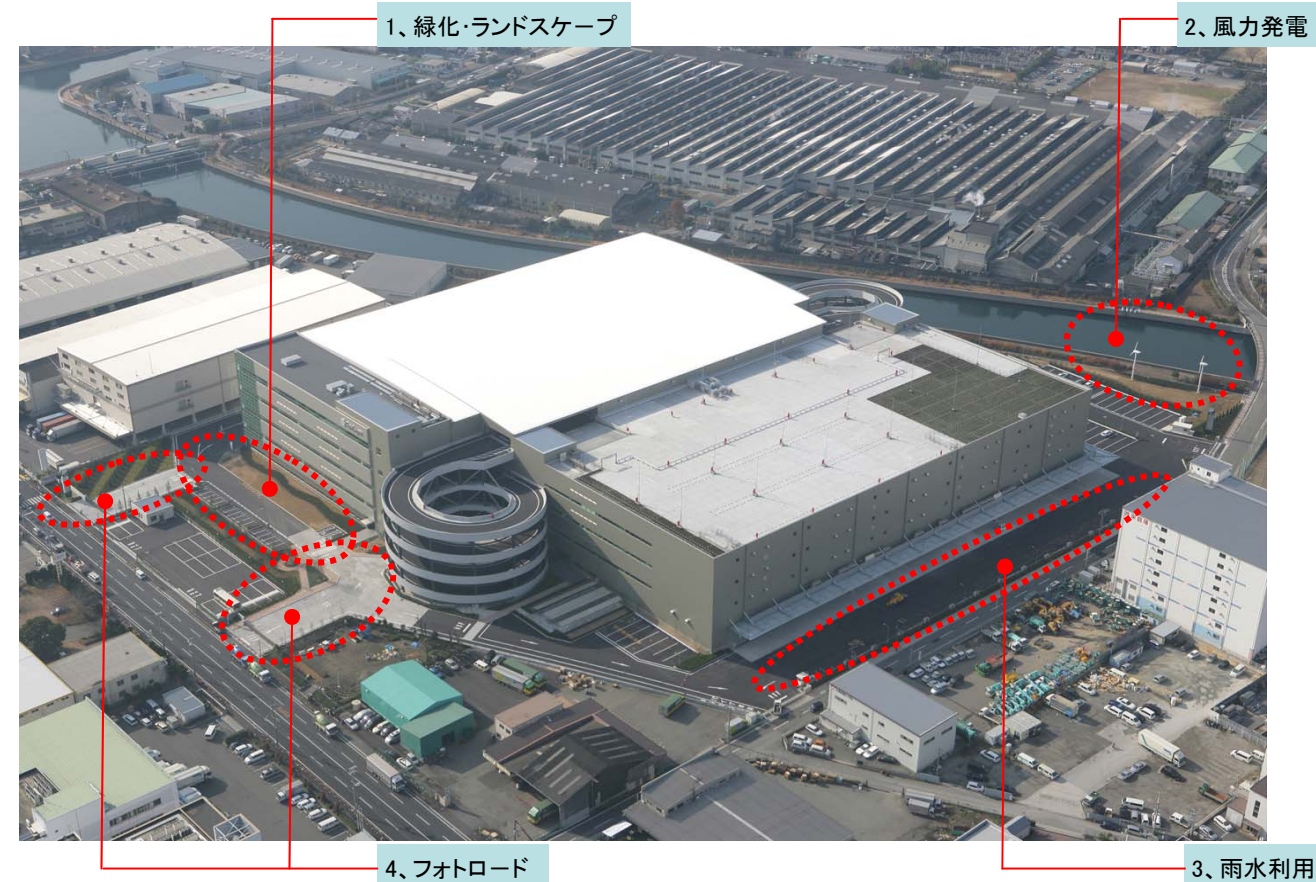
公害都市として知られる尼崎臨海地域という立地条件の中、周辺地域及び施設利用者に対し、高環境への企業取組みを訴求するという「環境創生の可視化」をテーマとし、サステナブルディベロップメントへの取組みを試みた。

主な取組み

- 1、緑化・ランドスケープ —まちなみ・景観への配慮—
- 2、風力発電 —自然エネルギー利用—
- 3、雨水利用 —水質源保護—
- 4、フォトルード —排気ガス浄化とヒートアイランド低減—

その他の取組み

- ・ 外壁断熱パネルによる熱負荷の低減
- ・ 避難安全検証法による合理化
- ・ 制震構造による建物予想最大損失の低減
- ・ PC構造による省力化と資源の低減
- ・ 鋼管杭による掘削土の削減



1、緑化・ランドスケープ

屋上緑化を含め、豊かな植栽とランドスケープ手法による周辺調和と景観形成を実現した。車道からの景観に考慮し、印象的なアプローチ景観を形成した。



エントランス横の石のオブジェ

2、風力発電

自然の風を利用した発電システムにより、外灯などに利用している。風力発電設備（風車）を高さ12mの10kW×2基設置し、発電した電気は、北側敷地内歩道沿いの外灯18W×16台に利用している。

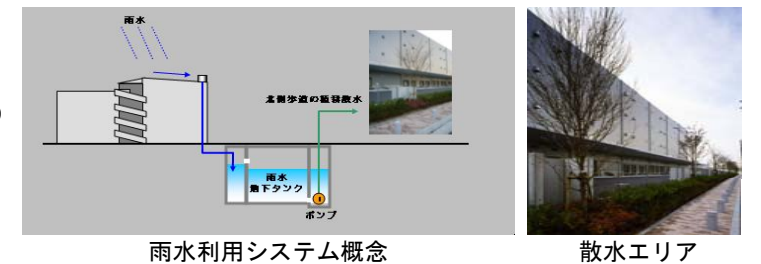


風力発電（風車）

発電利用

3、雨水利用

自然の雨水を貯留し、外構植栽の灌水に利用している。10t雨水貯留槽を地中に埋設し、北側敷地内歩道沿い緑地の約300㎡と北西緑地の約1300㎡に散水している。



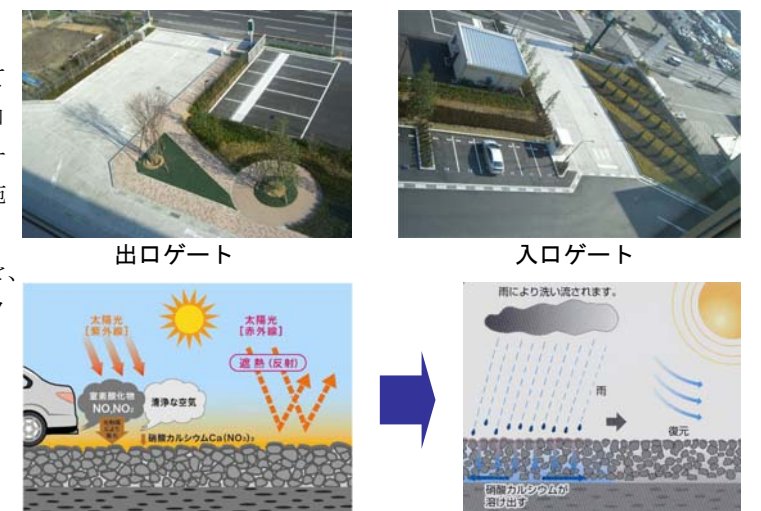
雨水利用システム概念

散水エリア

4、フォトルード

自動車排気ガスを浄化し、ヒートアイランド現象を緩和させている。比較的据え切り操作が少ない構内道路範囲で、東側入口ゲートと出口ゲートに排水性舗装に高耐久性高粘度バインダー材を使用して、表面温度低減型フォトルードを約1600㎡施工した。

フォトルードとは、自動車排ガス中の窒素酸化物（NOx）を、高機能舗装の道路表面にコーティングした光触媒（二酸化チタン）と太陽光（紫外線）の作用により酸化し、中性の硝酸カルシウムとして固定させ、雨水により洗い流す仕組みである。



出口ゲート

入口ゲート

大気浄化と表面温度低減の仕組み

設計担当者

計画：伊藤 良介、福井 博晃/構造：小西 俊/電気：阪下 佳広/設備：遠藤 健

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3 .2. まちなみ・景観への配慮（緑化・ランドスケープ）
- LR1.1. 建物の熱負荷抑制（外壁断熱パネル、熱線吸収ガラス）
- LR1.2. 自然エネルギー利用（風力発電）
- LR2.1. 水質源保護（雨水利用）
- LR2.2. 非再生性資源の使用量削減（柱のPC化）
- LR3.2. 地域環境への配慮（フォトルード：排気ガス浄化及びヒートアイランド低減）

建物データ

所在地	兵庫県尼崎市
竣工年	2006年
敷地面積	59,078㎡
延床面積	135,988㎡
構造	柱RC造+梁S造
階数	地上5階